

## 第2回ネットワーク会議「みんなで語らいましょう」発言テーマ

参加者の発言をポストイットに記入していただきました。この資料は、その集約になります。

### グループ1

希来里さん、会津コンピュファームさん、森のこめらさん、本郷こまわり隊、子育てほけっとさん、ゆきわり荘さん

- ・ 町としてどう、対処するのか？ サポートみさととのかわり
- ・ サポートみさとの今後は、どうなるのか。職場の安定
- ・ 力をだしあって誇りをもてる町にしたい。町も本腰を入れてバックアップしてください
- ・ 美里町でサポートみさとを生かしていくのか？（活かして？）
- ・ 団体間の活動の状況のPR誌を作りたい
- ・ 今回の機会をとらえ団体の交流を進め発表していく

以下、中村様メモから抜粋

町のビジョンが見えない。町にも計画があるのかもしれないが、それが見えてこない。

団体みんなで協力して広報手段を考えていけばいいのではないかな。

旧本郷の時代にボランティアセンターがあり、すでに同じようなこと（団体間の集まり）をやっていた。今回の集まりは「何をいまさら」という感じである。

サポートみさとが無くなくても、ここにいる皆での連携は続けていけるようにしたい。

サポートみさとのNPO化の話聞いたことがあるがどう考えているのか。

町や関連団体が主催しているお祭りやイベント、町民が広く参加できる体制とは言いがたいのでは？毎年同じメンバーで勝手に決めてやっていると感じる。

町はサポートみさとに何を求めているのか？

継続が大事だ。安定した見通しが無いといけない。

### グループ2

えんじんさん、森のこめらさん、語りべさん、旭の歴史を語る会さん、西部山麓資源開拓チームさん、子育てほけっとさん  
美里自然楽校さん、会津自然塾さん

- ・ 「ホーム・スタート」ようやく活動が始まった。町内の方々に名称も活動も知ってもらいたい
- ・ ボランティア団体を立ち上げる時。人なり
- ・ 美里町の未来像について
- ・ 自然との共生とは
- ・ ファミリーサポートについて。これからの事業取り組むにあたり
- ・ 有機農業、無肥料栽培
- ・ 美里町の観光について
- ・ 美里町のカフェについて

活動するのも資金が必要。継続的な活動を続けるならなおさら。苦労している。

ボランティアでも対価としてお金が必要。続かない。

若い人が外に出てこない。どうにかして外にでて地域の取り組みに加担させたい。

継続させることが大事。

町の総合計画で話した内容がまったく、反映されていない。

各団体が一体となった取り組みをしてほしい。団体の繋がりをつくる。

NPO、任意団体の文化祭的なことをやってよ。大きなイベントをやったらどうか？大きな花火をあげろ

消防団にでているお金の仕組みで文化・伝統をやっている人たちにお金がだせないのか

住むんだったら楽しくやろう

### グループ3

会津コンピュファームさん、おはなしほけっとさん、旭の歴史を語る会さん、宿泊業連絡会さん、子育てほけっとさん  
国際交流会さん、檜葉コンピュファームさん

- ・ 再生可能エネルギーに興味のある分野はなんですか？
- ・ 美里町のものでアピールできていないものはなんですか？（ネットワーク会議からニーズをとりたい。）
- ・ 発電した電力(10ワット以上)の活用方法について聞いてみたい。
- ・ 少人数で活動をしているので、まとまりがある。（メンバーが増えた時は不安）
- ・ 特異な活動である。
- ・ 新規会員が滞っている。役員が動かない。
- ・ 活動の範囲を広げてみようということで未就学児童向けに英会話教室を行った。
- ・ スタッフのスキルアップ(避難者向けの事業なので、傾聴のスキルも必要な場合が生じる)
- ・ 住民のIT技術の底上げ
- ・ ITを使いたいと思うような目的及び環境づくり
- ・ 宮里仮設住宅においてPC教室とタブレット端末コールセンターのようなサービスを代行している。
- ・ いわき市にある檜葉町のタブレット端末コールセンターと連携している。
- ・ 小学生に読みやすいようにイラストを入れてもらったら、予算オーバーになり困っている。
- ・ 語り部さんの高齢化(若手の語り部を育成したい)

- ・ 夏・冬の民話まつり開催寺の広報(ポスターとか)
- ・ 助成金で小学生に昔話の本を作成中。
- ・ 民話まつりの紹介がホームページに掲載されていてうれしかった。
- ・ 受講生が減っている。募集ポスターや新聞掲載、タウン誌なども掲載したが広報みさとは掲載されなかった。
- ・ 新しい事業をスタートさせたい。(動いている)自分たちも勉強しなくてはいけない。
- ・ ITを活用した情報発信をしていきたい。
- ・ パソコン関係のトラブル等、IT関係の団体さんに協力してもらえるのか？
- ・ 事業を行ったり、PRしていくためには外部からの意見が必要だと思う。
- ・ 郷土史の研究が目的で立ち上がったが年一回のイベント(イザベラバードウォーキング)は他地域の人たちに人気があり、毎回150人ぐらいの参加者がある。
- ・ 世代間交流が必要だ。もちつきやだんごさしなど文化の継承にもなるので子育ての現場に世代間交流が必要ではないか。

自分たちだけの団体だけでPRするより、HPや協力団体の連携で、より広範囲のPRや意見の集約が可能になる。ネットワーク会議の可能性について好意的な意見が出た。

#### まとめ

- ・ 町と町民活動支援の関係
- ・ 活動のPR・発表・交流の機会
- ・ 継続するための活動資金の獲得
- ・ モチベーションと維持
- ・ 活動メンバーを増やす、高齢化